

市民の暮らし、安全・安心のまちづくりを進めます!

- 53 警察や防犯協会など地域との協力を通じて、安心・安全なまちづくりを進めます。
- 54 まちの品格を保ち、子どもたちの健全な教育環境を守るために、ガールズパー等の客引きに対策を進めます。
- 55 居住支援協議会を設置し民間賃貸住宅へ入居が困難な方を支援します。
- 56 管理不全空き家への対応強化や、緊急対応するための条例を制定して空き家対策を進めます。
- 57 コミュニティバスの複数地域での試験運行を始めるとともに、他地域でも移動支援の検討を進めます。
- 58 市内におよそ60か所設置した「どうぞベンチ」をさらに拡充し、市民要望箇所にも増設します。
- 59 ボートの拡充などを通じてシェアサイクルをさらに便利で身近な移動手段とします。
- 60 自動車の安全走行につながるハード整備に加えて、自転車の左側通行徹底などマナー啓発を強化し、安全な自転車環境を整えます。
- 61 南海トラフ沖地震や大規模自然災害への備えとしての防災対策を進め、災害時の要援護者の支援体制を整えます。
- 62 学校の受水槽を活用した拠点給水を整備するなど、災害時の応急給水体制を整えます。
- 63 地域の防災専門人材を育成し、地域人材の活用による地域防災力の強化を図ります。
- 64 武庫川の継続的な治水対策をはじめ、津門川や高潮などの水害対策を引き続き取り組みます。
- 65 多様な市民ニーズに応える合葬式墓地の公募を開始すると共に、市営墓地のあり方など墓地墓苑行政について社会の変化を見据えた検討を行います。

都市基盤整備を進め、西宮の魅力をさらにアップします!

- 66 市が保有する公有地などを全面的に活用し、県の構想とも協働してベイエリア地域の再編・活性化を図ります。
- 67 国が進める名神湾岸連絡線建設工事については、影響を受ける市民・事業者の側に立ち影響を最小限に留める対応をします。
- 68 阪神西宮駅北側の民間開発とあわせて周辺の都市機能を一新し、利便性の高い駅前図書館を整備します。
- 69 国道176号名塩道路早期全線開通を目指し、生瀬工区と同時期に東久保工区の開通を国へ強く要望します。
- 70 塩瀬、山口地区の行政手続等の利便性向上を図るためICTの活用等により支所機能拡充を進めるとともに、地域の活性化にも取り組みます。
- 71 尼崎市などと合意した阪急武庫川新駅の早期実現と周辺整備を進めます。
- 72 国道171号線から北に関西学院大学までのびる都市計画道路である今津西線の整備を進めます。
- 73 甲陽園地区の大池に隣接する元市営住宅跡地の開発に着手し、その開発の一環として甲陽園市民館の建て替えを行います。
- 74 江上町市有地(保健所跡、市住跡)の一部に公園機能を整備し地域の憩いの場をつくります。
- 75 都市公園の新設や老朽化公園のリニューアルを進め、潤いあるまちづくりを進めます。
- 76 市の魅力の維持向上を図るために、夙川の松や桜に代表されるような、景観資源を活かす取り組みを進め、良好な住宅地の景観形成に取り組みます。

+3 新型コロナウイルス対応

- 101 コロナによって大きな影響を受けた事業者や、市民生活を支える事業を引き続き実施します。
- 102 早期に接種間隔6か月とした3回目接種を着実に進め、感染と重篤化の予防に務めます。
- 103 医師会や地域医療機関と協力し、保健所設置市として機動的かつ効果的な感染者対応を継続し、市民の健康を守ります。

環境学習都市として環境問題に正面から取り組みます!

- 77 2050年環境都市ビジョンの策定を通じて環境学習都市宣言やゼロ・カーボンシティを表明した自治体にふさわしい持続可能なまちづくりをめざします。
- 78 2030年までに公共施設電力ゼロカーボン達成に取り組みます。
- 79 自然エネルギー基本条例(もしくは基本指針)を策定し、市内の住宅や事業所への自然エネルギー導入支援と住環境保全をはかります。
- 80 公共施設はもちろん民間建物にもゼロカーボン建築を推進するための基準作りをすすめます。
- 81 ゴミ分別の見直しや資源ごみ回収拠点の設置を通じて資源回収と可燃ごみ削減を進めます。
- 82 市立公園内等のごみ箱を原則撤去し、地域の憩いの場である公園など生活環境の美化向上やプラごみ散乱を防ぎます。
- 83 森林環境譲与税を活用し、住宅隣接地などの森林保全整備を進めCO2吸収増によるカーボン・ニュートラルの取り組みを進めます。

シチズンシップのまちづくり、市民と共に歩みます!

- 84 「参画と協働の推進に関する条例」の検証を行い、シチズンシップの醸成と市民の地域参画が一層進む、市民が主役のまちづくりへの取り組みを強化します。
- 85 文教住宅都市宣言から60年を迎える2023年に、平和非核都市、環境学習都市と共にその理念を受け継ぐ企画を催します。
- 86 2025年に迎える市政100周年に、文教住宅都市の理念を市民と共有し将来に受け継いでいくことを目的とした市民参加型のイベントを実施します。
- 87 総合コールセンターを導入し市民利便性を高めるとともに職員の働き方改革も進めます。
- 88 市役所窓口「おくやみコーナー」などワンストップ化サービスを充実させ市民にとってより便利な市役所をつくります。
- 89 暮らしの手続きや行政内部のICT化を加速度的に進め、スマホで行政手続きを完了できるなど便利でスマートな西宮市を実現します。
- 90 子育て、介護などセグメントごとに登録された市民にプッシュ型で情報提供を行うようにします。
- 91 市民により伝わる広報、市民の声を市政にいかす広聴への取り組みをさらに進めます。
- 92 審議会など公開会議のオンライン配信を行い、広く市民が議論に触れる機会を作ります。
- 93 市民の声を政策提案に取り込む仕組みや市政評価に反映させる取り組みを進めます。
- 94 引き続き「アクティブな市長」を実践し、地域に向き市民との対話にさらに積極的に取り組みます。

行政経営改革を、さらに、前へ!

- 95 事業の統合・改善や市有財産の活用など、新たな課題の解決に向け、必要な財源をねん出する行政経営改革の取り組みを強化します。
- 96 組織ごとの組織目標を公開し、市民に各局の取り組みを見える化して、オープンな市政を市長のリーダーシップのもとで進めます。
- 97 外部のすぐれた知見を市政にいかすため、積極的に民間人材の活用を進めます。
- 98 市役所が率先して、ハードソフト両面から女性職員が働きやすい環境づくりを進めます。
- 99 メリハリある給与表へ改訂するとともに、成果を出した職員が報われる制度を導入します。
- 100 不祥事再発防止策の強化とともに、風通しよく明るい組織、市民の立場に立った仕事を徹底するなど、信頼される市役所をつくります。

